

# 低層住宅建築工事における現場施工段階のCO<sub>2</sub> 排出量調査結果について

平成 20 年 12 月 17 日



(社)住宅生産団体連合会 環境管理分科会

社団法人 住宅生産団体連合会(会長:和田 勇 積水ハウス株式会社代表取締役会長)の環境委員会環境管理分科会では、平成19年10月より20年3月において低層住宅建築工事における現場施工段階のCO<sub>2</sub> 排出量調査を実施してまいりました。調査結果を公表いたします。

## 調査の目的

低層住宅建築工事における、「現場施工段階のCO<sub>2</sub> 排出量」の把握を行なうため本調査を実施した。

## 調査対象

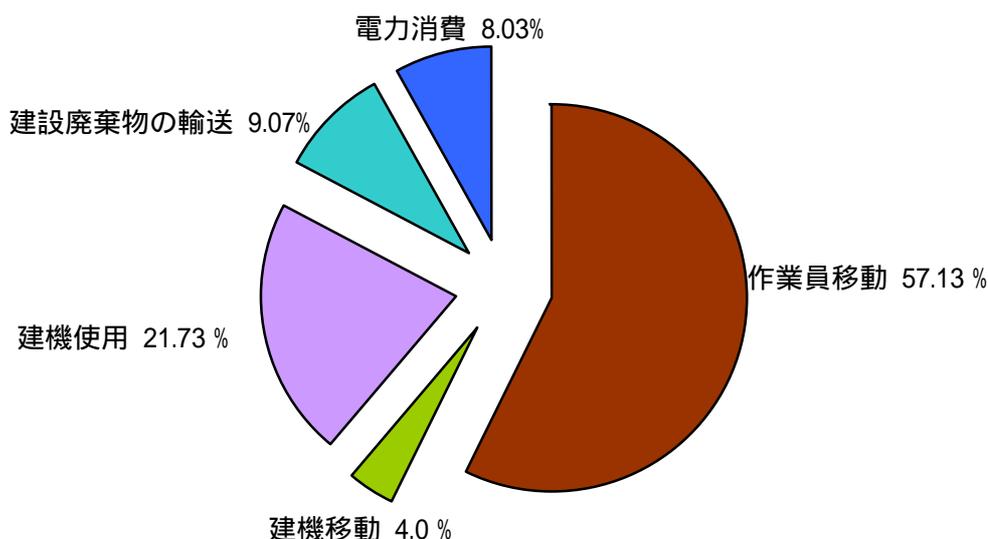
低層住宅建築工事においては、構工法・生産システム・仕様等が多種多様に存在するが、木造軸組構法、2×4 工法、プレハブ構法の3つのカテゴリーに分けて調査を行なった。

具体的には、木造軸組構法 2 社、2×4 工法 2 社およびプレハブ構法 7 社に協力をいただき調査を実施した。

## 調査結果

木造軸組構法、2×4 工法およびプレハブ構法では排出要因別のCO<sub>2</sub>排出量に差異はあるものの、現場施工段階のCO<sub>2</sub>排出量(排出要因別 CO<sub>2</sub>排出量の総計)は、どの構工法も概ね 10kg-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup> であることが確認できた。

現場施工段階における要因別CO<sub>2</sub>排出比率グラフ  
(木造軸組構法、2×4 工法、プレハブ構法の平均値)



供給面積当たりの排出量合計平均 10.34kg-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup>